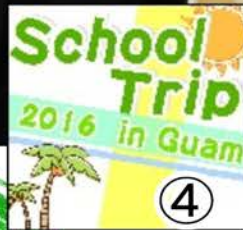


▶英語で忍者についての発表をする本校生



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

グアムの学生と交流

inSPCS

SPCSは1997年に設立された、幼稚園から高校まで15学年ある私立共学校だ。学校交流はSPCSの学生たちとのペアリングとオープニングセレモニーの後、本校生が半年ほど取り組んできたポスターを使ったポスターセッションを行った。ポスターセッション中にはパートナーとなった生徒どうしで、質問をしながら交流する様子が見られた。その後SPCSの学生による

前週3日目・後週2日目となる11月10日に、セント・ポール・クリスチャン・スクール(以下、SPCS)の中等部の生徒たちと学校交流が行われた。

朝から頑張る 運動部



▲ホテル横のビーチで走り込みを行う陸上部員

宿泊先のオンワードビーチリゾート付近では早朝に運動部が朝練に励み、修学旅行先でも積極的に練習する様子が見られた。野球部、弓道部、陸上部、男子ソフトテニス部、ボート部、男子バスケットボール部、女子バレー部などが練習をした。

ダンスパフォーマンス、今年度の東鬼祭で1位となった2年5組によるソーラン演舞、SPCSの生徒によるキャンパスツアーと続き、SPCSの学生とともに骨付きリブとチキンの昼食をとり、クロージングセレモニーが行われて終了した。

参加した生徒からは「ポスターセッション中に人が集まらず準備不足を感じたが、ほかのグループの発表をみるのは楽しかった」という声や「英語を話すことは言いたいことをうまく表現できず難しかったが、外国の文化を感じることができ、英語の良い練習となった」という声も挙がった。